



2002年 秋田JCスローガン「創始の精神を胸に刻み 青年力で伝統を新たに発展させよう」

AKITA JC NEWS

ホームページアドレス <http://www.akitajc.jp>

発行人/深沢 功 発行所/(社)秋田青年会議所広報委員会 事務局/秋田市山王2-1-54三交ビル3F ☎(824)7070

11月例会開催

【～話 道～ (株)喜田寛総合研究所 喜田 寛先生】

わが広報委員会の担当例会は、11月にしては珍しく雪景色となった寒い日に開催されました。全国のLOMを講演なさっている喜田先生のお話は、どんなに短縮しても2時間30分はかかるため、食事⇒会務報告⇒講演(質疑応答なし)という凝縮された設定となりました。また、あきた湖東JCのメンバーも参加して下さい、盛大な例会となりました。

喜田先生は、初対面にもかかわらず個人を指名してピンバシと「その人となり」を指摘する講演方法であるらしい、との委員長からの前評判も加わって、広報委員はみな緊張の面持ちで先生をお迎えいたしました。ところが、意外にも喜田先生はとても温かみのある方で、ニコニコしながら「今日はよろしく」とおっしゃられました。

講演は、テーブルをなくし、全員が先生の顔から目をそらすことの出来ない体勢で始まり、(何より嬉しいことに)最初に秋田JCを誉めて下さり、秋田JCであることに誇りを持つようおっしゃって下さいました。その後にご自分の人生の山あり谷ありをおもしろく取り混ぜながら「人としてどうあるべきか」を説かれました。

“人間と言う生き物はプライドの固まりだからね、そこをうまく誉めてあげること・認めてあげること・無視しないこと。これさえ守れば人間関係がうまくいかないなんてありえないよ”とか“人間の魅力はね、明るいこと・健康なこと・感謝できること。だから挨拶や返事、時間にルーズな奴は論外だね”などと当り前のことの大切さを具体例



をあげてわかりやすく説明し、また「思い・想い」ではなく「おもい」、「笑顔」ではなく「えがお」といったふうに文字によってその強さを表現したり、「怒る」と「叱る」・「喜び」と「満足」の違いについても熱く語られました。「常に前の道を+αで考える」とおっしゃる先生ならではのお話でした。

この講演の最中にも適宜指名して冗談とも本気ともつかない指摘を繰り返し、最後には壇上で2分間スピーチというプレッシャーまで与えて下さいました。割り当ては計8名だったのですが(約1名特に気に入られたKさんはテーマも即題という破格の扱いでした)かくいう私も担当例会なのに、のうのうと座っていたせいにか「じゃあ女性はあなたね」と当てられてしまい、冷や汗をかきました。でも、スピーチのあとには、座っているだけでは絶対にやってもらえない「個人的なあれこれ」を指摘戴いて、ある意味ラッキーだったのかもしれない。一部の方から非難がきそうですが、どうやらまだ前が出る積極性が足りないようです。がんばらなくっちゃ!!

あれやこれやで、あっという間の3時間近い例会は無事終了いたしました。本の売れ行きは例会あとのほうが断然良かったみたいです。また、先生にはホテル内の2次会では、最後までおつきあい戴き本当にありがとうございます。翌日1便の飛行機大丈夫でしたか?

広報委員会 国安 忍



ノーサイドクラブ 練習始まる ～来年へ向けGO～

秋田JCノーサイドクラブの佐藤操です。

平成14年11月6日より、毎週月、水19:00～21:00八橋のゼロックススポーツスクエア2F、3Fにてノーサイドクラブの練習が開始いたしました。

来年の全国大会が秋田開催となります。

「主管LOMとして優勝しかない!」と次年度理事長からのお達しのもと、ノーサイドメンバー丸となって優勝を目指し練習しておる次第であります。

現在のところ時期的に参加人数は少ないのですが、それでもメニューを決め地道にサーキットトレーニングに励んでおります。

練習後はユーランドホテル八橋の松村さんの御好意で入浴料を無料にいただき入浴後にビールを飲みながら来年の大会の成功へ向けてモチベーションを上げております。

ラグビー未経験者でも参加OKですので、一人でも多くのご参加をお待ちしております。私、佐藤操が親切丁寧に指導をさせていただきます。

メンバーの皆さん、来年、八橋陸上競技場のピッチの上に乗ってラグビー王国秋田を他のLOMにアピールしましょう!／

ノーサイドクラブ幹事 佐藤 操



汗を流すメンバー

創立50周年記念誌発刊にあたり

秋田青年会議所の50周年という記念すべき年に、自分が50周年記念誌編纂委員会に所属し、記念誌編纂に携わることができ、大変光栄に思います。

今日に至るまでの諸先輩方の歩み、努力の積み重ねに触れる貴重な経験ができました。青年会議所は、一本の太い筋を通しながらも、その時代、時代に合わせた柔軟な姿勢で事業を展開していて、今現在の自分にも必要なことだと、強く感じました。また、先を見据えての活動、地域に密着した地域のための活動、長期的事業等、不景気と言われる今日の私共のあり方にも何かしら学ぶべきことがあったように思います。

日本青年会議所の会頭の会談の記録を担当させて戴き、録音された物をお聞きする機会に恵まれ、大変有意義な経験をさせて戴きました。何げない一言にもお人柄が表れ、会頭は経験豊富で、世界も含めたお話や、今後の青年会議所のあり方など、より多くの意見を頂戴しました。

記念誌が発刊するに至り、私共50周年記念誌編纂委員会の活動が実を結び、形となり、大変うれしく思います。長谷川真彦委員長には、1年間頼りっぱなしで、申し訳なく思っております。私共委員をリードして戴き、ありがとうございました。最後になりましたが、ご協力いただいた皆様方に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

50周年記念誌編纂委員会 藤原 成洋



委員会紹介（社会起業家推進委員会）

こんにちは、社会起業家推進委員会の紹介を致します。
当委員会のメンバーは、川反でもJC活動でも頼りになる佐藤透委員長をはじめ、にわとり・卵の専門家、秋田家禽の木場寛晶副委員長、運営幹事の珍田秀人君、県外や海外で仕事の多い黒澤貢君、委員会の夕食においしいお弁当を持ってきてくれる「味しん」の佐藤一美君、北都銀行本店営業部の進藤孝志君、今年卒業で設計屋さんの尾留川啓二君、以前は小学校の先生で今は拡大商事の深瀬亮一君、7月入会、廃棄物処理業の佐藤尚二君、同じく7月入会建設業の石黒学君、そして私、足利健の計11人で構成されております。

建設業関係の仕事をしている人がかなり多い委員会です。年間事業計画として「新世紀を拓く社会起業家精神を育

てよう」をテーマとし、私達会員一人一人が市民として、企業人として、NPOの一員として公共心と知恵を最大限に活かして社会貢献していく必要性があり、その鍵となる社会起業家精神を育成することにより、真に豊かで持続可能な新社会システムの構築を支援することを主旨として活動してきました。

他に50周年の記念式典の際には、会場設営と会場誘導、式典終了後の会場の整理と後片付け担当で、かなりくたくたになった思い出もあります。

最後に今年も残り少なくなりましたが、年度末まで宜しくお願い致します。

社会起業家推進委員会 足利 健

12月例会：卒業式のご案内（渉外委員会）

卒業式テーマ：

「輝く秋田の未来へ、走り出せ千里の虎」

日 時：平成14年12月10日（火）

例 会 17：30～

卒業式 18：40～

場 所：アキタニューグランドホテル

内 容：最終例会及び卒業式

50周年という節目の年、会員の皆様におかれましても殊更に感慨深い1年であったことかと思えます。

様々なテーマ・切り口で開催されました本年度の例会も、早いものでいよいよ最後の例会となりました。12月例会は本年度の集大成の場であり、そして新旧のバトンが引き継がれる場でもあります。

今年1年の皆様のご活躍に対して行われる褒賞授与や、深沢理事長から斎藤次年度理事長へのプレジデントリレー

交換といった重要なセレモニーも行われますので、個々人の有終の美を飾るべく、多くの方々の参加をお待ち申し上げます。

また、例会に引き続き、昭和37年生まれの方々卒業式が開催されます。長年にわたり秋田JCを支えて下さり、そして我々現役会員を温かくご指導して下さいました8名のご卒業会員の皆様を、賑々しく送り出したいと思っております。

ご卒業会員、そして現役会員が思い出に残る卒業式を演出するため、恒例(?)となりました荻原委員長率いる秋田JC舞踊団(?)によるアトラクションも含め、委員会メンバー全員が一丸となって準備・設営を行っております。

ご卒業される皆様のご労苦をねぎらうべく、多数のご参加をお願い申し上げます。

渉外委員長 長谷川尚造



卒業記念写真撮影中の1コマ

働くおじさん み～つけた！

連載企画

第9回 50周年運営委員会 米澤 弘晃

広報：だれもが一度は食べている「ヤマヨのめん」。実際はいつ頃から始まったんですか？

米澤：はい、大正2年からなので創業89年、老舗の4代目になります。

最初乾麺から生麺へと移って行って、今は餃子などの皮、珍しいところで乳製品も扱いますね。私自身は営業なんですけど、企画や経営、商品開発もやっちゃってますよ。最近厳しいですからね、色々狙ってるんですよ。楽しいけど、朝早くって～（泣）

広報：それは大変！では生まれる前から麺屋さんなんですね～

米澤：そうなんです。一応「将来はカメラマン」とか言ってたときもあったんですけどね。高校のときに進学問題で「後継」を意識させられて、交換条件で大学に行ったつもりだったんですけど、親の方がアタマ



良かったみたいです（笑）。卒業後は関係会社で7年ほど修行しました、といっても営業ですけど。

広報：そうですか。趣味はどうですか？

米澤：え～とね、日曜はゴルフかな。最近体型を気にして、バスケットもちょっと復活したカンジ。でも歴史物とかの小説も好き。あ、あととにかく麺好きなので、リサーチ兼ねて1日1食は麺だね。えらいでしょ？

広報：すごい！ 麺屋の鑑！ さてJC活動についても聞かせてください。

米澤：入会はねえ、例にもれず某常任のおすすめ。でもやっぱ楽しいね。特に今年一番重要な委員会に入って活動したし。「40歳までっていう、限られた時間をどう過ごすか」なんてカッコいいよね。

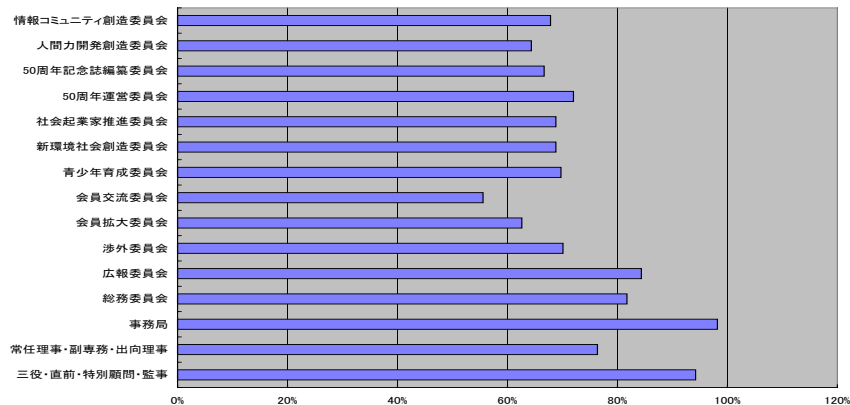
広報：でも私より若いよねえ…では次回のご指名は。

米澤：はい、情報コミュニティ創造委員の岡竹博昭君にお願いします。

広報：了解です。ありがとうございました。



委員会別例会出席率



編集後記

「話道」とは「心理学？」「読心術？」非常に不思議な講演でした。11月例会も開始時間が大幅に早まったにもかかわらず、2時間40分もの長時間にわたり、講演研修にご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。途中退席者一名、遅刻者一名（登壇）のみにて携帯電話が鳴ることもなく、皆様のご協力ももちまして無事終了いたしました。

「来年の竿燈には必ず来る」と、次年度と固い約束を交わし、喜田先生は次の講演に向かわれましたことをご報告申し上げます。

広報委員長 岩田 幸久